

人と人、心やすらぎ 健康で住みやすいまち 吉田町

広報

よしだ 11

2010 No.616



特集

防犯の要

—安全・安心なまちづくり—

吉田町芸能祭 (14頁関連)

ステージで日ごろのけいこの成果を披露した「清空館/吉田町少年少女空手道クラブ」の子どもたち



特集

防犯の要

—安全・安心なまちづくり—

「今日未明、〇〇県〇〇町で〇〇事件が発生しました。事件が起こったのは閑静な住宅街で…」と毎日耳にする痛ましい事件などのニュース。

これは、日々日本のどこかで犯罪が発生していることを意味しています。「犯罪には巻き込まれたくない…」と願っていても、明日同じようなことが自分の身に降りかからないとは言い切れません。

平穏な日常を一瞬で破壊してしまう犯罪を未然に防ぐことはできないでしょうか。

安全で安心して暮らせる町をつくりたい—

現在、町内では、町民の皆さんが安全・安心に暮らせるまちづくりを目指して、さまざまな活動を展開しています。今回は、防犯の要として地域で活動をしている皆さんを追い、私たちからできる安全・安心なまちづくりについて考えます。

霜月

C O N T E N T S

特集

防犯の要

—安全・安心なまちづくり—

03

町長からのメッセージ

我が町の明日の

まちづくりについて②

12

まちのわだい

14

まちからのお知らせ

16

情報ボックス

18

保健だより ほか

22

しずおか市町対抗駅伝 選手紹介

24

としょかんだより

26

給食メニュー、人の動き ほか

27

かがやく笑顔

Happy Birthday (ハッピーバースデー)

28

11

2010 No.616



仕事も終わり、帰宅しようと駐輪場へ行くと「まさか」と思いましたが、自分の自転車がありませんでした。職場の駐輪場だったこともあり、鍵は、いつもかけていませんでした。自分の中で油断をしていたところがあったと思います。自転車といえども盗まれることは、とても悔しく、つらい思いをしました。以後は、2重の施錠を心掛けています。

町内在住・30代男性

こんな思いはしたくない…



まさか自分が — 実際に窃盗の被害にあった2人が心境を語る。

出勤するとき、自宅の駐車場に止めてあった車のドアを開けると中はめちゃくちゃに。初めは、何が起こったのか分からなく、見るとカーナビゲーションが盗まれていました。鍵は掛けてありましたが、夜中に後部座席の窓を割り盗んでいったのだと思います。ショックのあまり声が出ませんでした。今でも悔しい思いと、不安でいっぱいです。



町内在住・20代女性

被害者の声

町内犯罪発生状況 (平成21年1月~12月)

地区名	空き巣	事務所 荒し	出店 荒し	自転車盗	オート バイ盗	車上 ねらい	部 品 ねらい	器物破損	その 他 刑法犯	合 計
住吉区	1	2	3	34	4	8	2	21	53	128
川尻区	1	1	1	5	5	6	1	9	20	49
片岡区	1	1	0	10	0	3	0	9	14	38
北区	4	1	0	7	0	4	1	11	29	57
町全体	7	5	4	56	9	21	4	50	116	272



ガラスを割ってカーナビゲーションなどを盗む「部品ねらい」

写真提供：静岡県警察本部

昨年町内で発生した犯罪件数——272件

実際はもっとも多い犯罪件数

平成21年中の吉田町における刑法犯認知件数は、272件。聞き慣れない言葉かもしれないが「認知件数」とは、発生した犯罪のうち、実際に警察に届け出のあった数のことです。被害に遭っても被害者がわずかであるとか、世間体が悪いといった理由などで届け出がされていないものは含まれていませんので、実際はもっと多くの犯罪が発生しているのが現状です。

昨年町内では、凶悪犯に分類される郵便局強盗（検挙解決済）が発生しました。また粗暴犯である暴行、傷害、脅迫事件も発生しており、更なる大きな事件が発生する可能性があるといえない深刻な状況にあるのが実情です。

皆さんが身近に感じる犯罪の認知状況に目を向けてみますと、際立って多いのが自転車盗です。自転車盗の認知件数は、町内で発生した刑法犯認知件数の約2割を占めています。また、被害にあった自転車の75%は、鍵を掛けない状態で盗まれており、防犯意識の低さがうかがわれます。

自転車盗の次に発生が多いのが器物損壊（他人の物を傷つけたり、壊したりする犯罪）です。駐車中の自動車のボディに傷をつけられたり、窓ガラスを割られたりする被害のほ

か、物（公共物を含む）を壊される被害などが発生しています。ラッカースプレーやペンキなどでのいたずら書きも犯罪であり、器物損壊や建造物損壊にあたります。

次に発生が多いのは、車上ねらい（駐車中の自動車や自転車の前カゴなどから金品を盗むもの）。無施錠で駐車中の自動車から現金やバッグなどを盗まれるケースのほか、自動車の窓ガラスを割られたり、鍵穴やドアをこじ開けられて被害に遭うケースも多く、「施錠したから大丈夫」などと油断してはいられないうえ、部品ねらい（駐車中の自動車、オートバイなどからカーナビゲーションやタイヤなどの部品を盗むもの）も発生しています。

凶悪な事件に発展する可能性も

特に気をつけなければならないのは、空き巣（人が不在の住宅内に侵入して金品を盗むもの）・忍び込み（夜間就寝中の住宅内に侵入して金品を盗むもの）・事務所荒し（会社などの事務所に侵入して金品を盗むもの）・出店荒し（閉店時の店舗に侵入



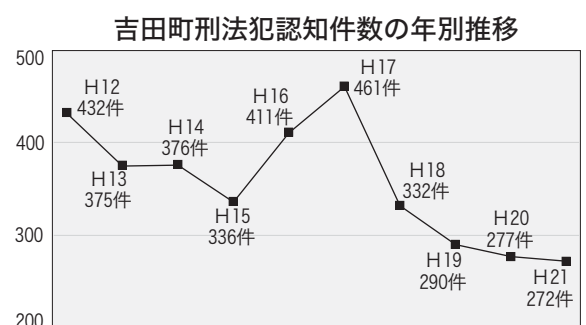
▲窓ガラスを割って人が不在の住宅内に侵入する「空き巣」



犯罪発生状況

知る

1町の現状



刑法犯…凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯（侵入窃盗、自転車盗、オートバイ盗、非侵入窃盗）、認知犯、風俗犯などの総数

して金品を盗むもの）などの侵入窃盗事件です。空き巣や忍び込みなどの犯罪は、家の住人と犯人が鉢合わせしてしまうと、場合によっては強盗などの大きな事件に発展してしまう危険性があります。また、被害は金品のみではなく、部屋の中を荒らされた恐怖感や、悪意を持った顔も分からない他人が部屋の中にいたという嫌悪感、そしてまた侵入されるのではないかと不安感といった精神的な被害をもたらします。これからの時期は、年末年始、旅行などで自宅や店舗などを空ける時間が増えてきます。空き巣や車上荒しなどの犯罪に遭わないためにも、十分な注意が必要となってきます。

2 地域から

広がる —防犯パトロール



治安の悪化に対する不安

警察や行政などは、治安の悪化を食い止めようと、取り締まりの強化や犯罪の抑止対策を懸命に取り組んでいます。地域住民を巻き込む痛ましい犯罪は、依然無くなることはありません。

最近では、防犯に限らずさまざまな解決困難な問題に対して、地域住民が自ら立ち上がり、解決に向けて取り組む動きが全国でも見られ、改めて地域の底力が見直されています。

こうした中で、治安の悪化に対する不安から、町内でも犯罪の発生を未然に防ごうと、地域が一体となった、「地域は地域で守る」を合い言葉にさまざまな「防犯活動」が展開されています。

青色防犯パトロールの登場

これまで、パトカーや救急車などの緊急車両を除き、一般の自動車に回転灯を装備することは、法令で禁止されてきました。しかし、犯罪の抑制の強化から警察に認定を受けた団体には、自動車への青色回転灯の装備が認められることになり、平成16年から全国で運用が開始されました。これが「青色防犯パトロール」です。

この青色防犯パトロールは、地



域住民に安心感を与えるとともに、被害の未然防止、犯罪に対する抑止効果も高いと言われています。

8月末現在の青色防犯パトロール登録団体は、県内で約150団体、2,718台もの車両が登録され、町内では「吉田町花の会」の皆さんや役場など計81台を登録し、犯罪を抑止するために定期的な防犯パトロールを実施しています。



▲「顔見知りが多い自分の住む地区をそれぞれパトロールする」と話す「花の会」の中村安夫会長

「地域は地域で守る」を合い言葉に

北区補導委員会の地道な活動

北区の住民で組織する「補導委員会」は、夜間パトロール、補導・防犯活動を展開しています。その取り組みの中で、地域の防犯に対する意識付けすることを重点に、年に数回勉強会や関係部署（警察署、小・中学校・役場など）との意見交換会を実施しています。意見交換会では、まず犯罪の実態など町の状況を



▲防犯について語る北区の皆さん

導委員長は、「組織は地味かもしれませんが、こういった地道な活動で警察署、役場、学校、地域が連携しながら、地域の防犯意識が高めていくことが必要」と話し、また大石節夫副会長は「組織としての活動だけでは、地域全体はよくなりません。経験した委員さんたちが地元で地域の目となり、周りの人たちに伝え、輪を広げて行くことが大切」と防犯からの地域づくりを語ってくれました。



▲防犯マップを作成する委員たち

隣組など近所で協力し合うことが大切

防犯活動は、昭和58年に「少年警察協助手員」となったのが初めてです。これまでも、少しでも人のためになることをという思いで活動を続けてきました。以後、地域安全推進協議会長や警察協助手員などを務めてきました。一番の思い出は、防犯パトロール中に空き巣の指名手配犯を見つけ、すぐに警察に連絡し、逮捕につながったことです。最近では、環境が変わり、真夜中でも街は明るく道を普通に歩けるようになり、不審者かどうか見分けが付かなくなりました。犯罪者によると「隣近所の付き合いがしっかりしているところは、空き巣に入りづらい」と聞いたことがあります。



地域安全推進協議会長
水野 更さん(片岡)

地域防犯に尽力された水野さんは、全国地域安全運動期間中（10月11～20日）に開催された「地域安全のつどい」の中で「全国防犯協会連合会防犯功労者・防犯功労栄誉銀章」を受章しました。

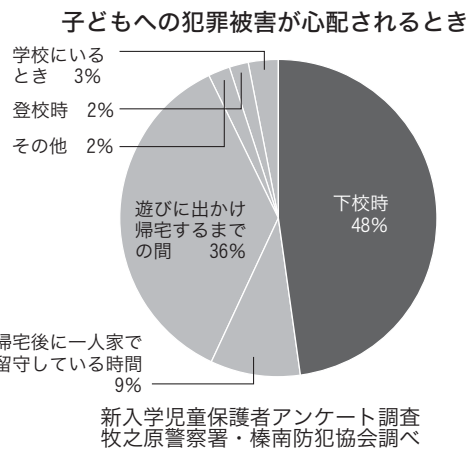


自然とあいさつができて、みんなが安心して暮らせる町に—

「笑顔いっぱい運動」を始めたきっかけは「地域再生プラン」という事業の中で地域の教育力を高めようということで始めました。地域の教育力を高めるためにはどうしたらよいか—まず「関わり」「コミュニケーション」から教育力を高めよう思いました。またこの町は当時、街頭犯罪が多かったと言われていて、声掛け事案も非常に多かったです。知らない人でも、お互いにあいさつ合えば犯罪者も「まずい」として犯罪をやめるとよく言われています。また、あいさつされるとやめるといことも聞いていました。お互いのあいさつや声掛けが広がってくれば犯罪が減るのではないかと。それらが重なり、あいさつ運動を始めようと決めました。しかし、あの当時は、声掛けをすると不審者に思われてしまうこともあり。このようなことから目印として黄色のベストを作り、各小学校へ回って「黄色いベストを着ている人はみんなのことを思っている人だよ」ということを児童たちに周知してからスタートをさせました。そのあとに同報無線も併せて始めると、次の年は、声掛け事案が吉田町からなくなりました。みんなで声を掛けることがここまで効果があるとは、当時本当に驚きました。今後も行政をはじめ、地域の皆さんには、ぜひ続けてほしいと思います。理想は、ベストがなくても自然とあいさつができて、自然とみんなが安心して暮らせる町になればいいと思います。

「黄色のベスト」発案者
自彊小学校教諭
和田 安史さん
(神戸)

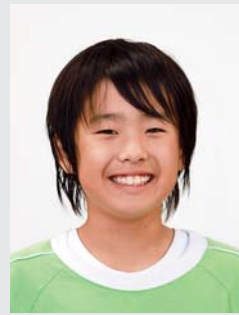
H16年度～19年度まで県教委から町教委に派遣。笑顔いっぱい運動は、その時に立ち上げた



桜井 安寿さん (自彊小学校・5年)

▶黄色のベストを着たおじさん、おばさんたちが、いつも大きな声で「おはよう」とあいさつして、わたしたちを見守ってくれているので、とても安心できます。

いつも「見守り」ありがとう



良知 義斗くん (自彊小学校・5年)

▶ぼくたちが学校へ行くとき、毎日「黄色のベスト」を着て見守りをしてくれているので心強いです。毎日見守りをしてくれてありがとう。



3 挨拶から

見守る

—笑顔いっぱい運動



事件の一手手前の声掛け事案
昨年、町内で発生した子どもに対する声掛け事案(子どもに対する『声掛け』『つきまとい』など)であった。事件に至らないものや、不審者の出没事案など)の発生件数は、18件であった。このような中、現在町では、子どもたちを守るために黄色のベストを着用する「吉田町笑顔いっぱい運動」を展開しています。

住民の賛同者を中心に活動する「黄色のベスト」

「吉田町笑顔いっぱい運動」は、県教育委員会が推進する「地域の青少年声掛け運動」の一環で、町教育委員会が平成16年から始めた事業です。この事業は、子どもたちに対し、あいさつをはじめ周りの大人の誰もが温かなまなざしを向け、声を掛け、積極的にかかわることを通して青少年の健やかな成長を支援していくことと賛同者を中心に活動しています。

活動は、「黄色のベスト」を着用して主に子どもたちの登下校の時間帯に通学路に立ってあいさつや交通事故防止に努めています。また、畑仕事や犬の散歩、ウォーキング中など何らかの仕事しながらもベストを着用することによって「地域の目」となり監視役としても役割を果たしています。このように「黄色のベスト」は、連れ去り事件などの犯罪から子どもを守り、事件の発生を未然に防ぐことにもつながっています。

同報無線も活用

町では、「笑顔いっぱい運動」の同報無線を流していることをご存じでしょうか。「小中学校の皆さん、気をつけて家に帰るようにしましょう。地域の皆さん、笑顔いっぱい声掛け、見守りをお願いします」という内容の同報無線です。

これは、笑顔いっぱい運動に賛同していただいている皆さんをはじめとする地域の皆さんに帰りの時間をお知らせするほかに、犯罪者にこの時間帯は「地域の目」がたくさんあることを思わせ、犯罪が起きにくい環境をつくっています。

地域の温かな見守りを：

現在町内では、笑顔いっぱい運動に自治会や地域の皆さん、学校など約80人の方が賛同し、ボランティアとして活動していただいています。また、この運動は、一人からでも活動できることから、気軽に誰でも参加できます。教育委員会では、現在でも賛同者を募り、子どもたちの登下校時に黄色のベストを着用して温かな見守りを町民の皆さんにお願いしています。



防犯のプロフェッショナルに聞く



総務課 地域安全部門
統括 **内藤 貴仁**
(静岡県警察本部より派遣)

吉田 田町に派遣されて1年6か月。警察官としての経験を生かして、安全で安心して暮らせるまちづくりに役立てることを心掛けています。

防犯を考えるうえで大事なことの1つは、『地域に犯罪者をよせつけない』ことです。そのためには、自治会や町内会単位による防犯パトロールやあいさつ運動などの地域ぐるみによる防犯活動が大切。犯人は、当然捕まりたくないため「人の目」を嫌います。近所の人からあいさつなどで声を掛けられ犯行を断念するケースもあります。実際、パトロールにより犯罪が減っている地域がたくさんあります。

日本一安全・安心なまちに

放置自転車や落書き、ポイ捨てされたゴミがある場所など、地域の人たちが地域のことに関心がない場所は「犯罪の起りやすい危険な場所」です。身近な環境美化活動も犯罪の抑止につながります。また、見慣れない車が長時間止まっていたり不自然に感じたときなどにナンバーを控えておくことや警察に相談することも立派な防犯活動です。小さな積み重ねが事件の発生を未然に防ぐことや事件解決のため大きな手掛かりとなります。

もう一つ大事なことは「敷地や建物に犯罪者を入れない」工夫。外出する時などに隣近所でお互いに声を掛け合って見守り

合うことや、垣根を低くして外部からの視線を確保しましょう。犯人は「音」「光」「時間がかかること」を嫌います。振動に反応して大音響やライトを発する防犯グッズによる対策などは手軽に出来ますし効果があります。防犯ガラス・防犯フィルムなど防犯性能の高い建物部品（CP製品）を取り付ける「侵入に時間がかかる対策」も非常に効果があります。

そして、基本的なことですが、必ずお願いしたいのは「鍵を掛ける」ことです。町内では、鍵を掛けない自転車の盗難被害に遭うケースが多発しています。町内における本年1月から9月までの間の自転車盗認知件数は28件ですが、そのうち26件は鍵をかけたにもかかわらず、施錠率はわずか7・1%でした。被害者の学識別では、中学生と高校生が全体の約60%を占めているのが現状です。たとえ、短時間の買い物や自宅の敷地内に自転車止める場合であっても必ず鍵を掛けてください。

今までお話ししたように、少しの心掛けて犯罪の発生を防ぐ

一人一人ができることから今すぐ行動を

ことができます。まずは、犯罪の発生傾向について知ることから始め「自分の身は自分で守る」という意識を持ち、一人一人ができることから今すぐ行動を始めることが大切です。

安全・安心なまちづくりのためには、警察によるパトロール強化はもちろん、地域の皆さん・警察・町が連携した活動を行うことや、道路・公園・駐車場・住宅などの都市構造を防犯環境設計の視点から、犯罪者に犯罪の機会を与えない、犯罪の被害に遭いにくい環境に整備して犯罪を未然に防止することが必要です。

町内で4年連続して刑法犯認知件数が減少しているのは、地域で取り組まれているパトロールなどの防犯活動によるためです。あなたの大切な車や自転車が被害に遭わないため、最愛の家族が心や体に傷を負わないよう、地域から犯罪被害者を生まないためにも、あなたの参加が必要です。地域ぐるみによる防犯活動を展開し、吉田町を日本一安全・安心なまちにしましょう。

防犯の町への更なる強化

町は、平成19年4月1日に「吉田町防犯まちづくり条例」を施行、平成20年1月には「吉田町防犯まちづくり推進協議会」を設置し、行政・警察・住民・その他関係機関と連携して安全で安心して暮らせるまちづくりを推進しています。

また、毎月15日を「防犯の日」と定め、町全体の防犯意識の向上を目的にさまざまな防犯活動を展開し、更なる強化を目指しています。

町の取り組み

現在、町では「緊急雇用創出事業」を活用し、臨時職員2人を雇用して駐輪場での2ロックの指導や犯罪抑止のために自転車を使い、町内全域を巡回しています。

そのほか、職員による青色防犯パトロールや防犯出前講座、関係機関と協働して防犯キャンペーンなどを開催し、防犯活動に対する支援体制を強化するなど町をあげて積極的な活動に取り組んでいます。

広報活動として、町の犯罪発生情勢に応じて防犯対策などの情報をお届けする「セーフティよしだ」を町民向けと事業所向けに分けて毎月発行しています。また、町内で不審者事案などが発生した場合には、即座に町のホームページにその情報を掲載していますので、ぜひご活用ください。



先人たちの知恵に学んでみませんか

最近では、個々にホームセキュリティティーなど警備会社と契約する人や量販店では、多種多様な防犯グッズが販売されています。

また、町では自転車の盗難を未然に防ぐため、利用者の多い3カ所の駐輪場に防犯カメラを設置し、7月から運用を始めました。このようなハード面の整備は、わたしたちの身近でさまざまな犯罪が多発していることを証明しています。こうしたハイテク機器が何もなくった一昔では、犯罪を未然に防ぐためにどんなことをしていたのでしょうか。それは、ごく自然なこと、地域に住む人々がお互いの「顔を知り、あいさつし合い、話し合う」という地域の「組織力」だったかもしれません。

そのチカラが地域の目となり犯罪を未然に防ぐ、わたしたちを守る大きな力になるということも忘れてはいけません。



の整備に努めたいと考えています。

次いで、保育事業ですが、保育事業のうち、18時以降の延長保育、休日保育、一時保育は他の市町と比べても勝るとも劣っていませんが、受入開始する乳児の月齢については改善しなければならぬ状況です。改善の方向としては、現在の生後11カ月での受入開始時期を法律で定められた8週間の産後休暇明けでの受入に向け、月齢の段階的な引き下げを図りたいと考えています。また、障害児保育については、スタッフの資質の向上などに努めてまいります。さらに、政府が6月に策定した「新成長戦略」のなかで拡充をうたった病児・病後児保育については、医療との絡みがありますので医療機関の協力を得ながら進めてまいりたいと考えています。

また、保育園の整備ですが、さくら・わかば・さゆりの各保育園の持つ保育機能を経験的かつ抜本的に洗

い直し、不足している機能および将来的に新たに追加すべき機能を川尻のすみれ保育園の改築に盛り込むこととし、来年度に社会福祉課に保育士中心のすみれ保育園整備プロジェクトを立ち上げ、改築の青写真の検討に入りたいと考えています。

次いで、学童保育の問題ですが、将来的には労働力が不足する事態が訪れることは明らかです。したがって、女性に対する社会的な要請がこれまで以上に高まることを考慮して、受入児童の高学年化および受入規模の拡大に備えて抜本的な検討に着手したいと考えています。

高齢化への対応

平成22年4月1日現在の当町の高齢者人口は5,931人、高齢化率は19.4%であり、県下35市町の中で低い方から7番目にランクされています。また、住民基本台帳によれば、在宅ひとり暮らし高齢者の世帯が474世帯、高齢者だけの世帯が585世帯となつています。ひとり暮らしや高齢者のみで生活する高齢者の割合は28.2%を占め、高齢化の進行に並行して高齢者のみの世帯が増加しています。したがって、これまで以上に高齢化対策の充実に努め、強化しなければならぬと考えています。

まず、健康の維持の問題ですが、肺炎にかかりにくい体づくりのため医療面ではインフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの同時接種を勧めますが、今後は肺炎球菌の接種について適切に接種できるように努めたいと考えています。また、体力の維持のために高齢者が興味を持ち、関心を寄せていただけるような魅力あるメニューの品ぞろえに努め、参加者が増えるように「若返り貯筋塾」などの内容拡充に取り組みたいと思います。

高齢者の健康の維持には、身体面だけでなく精神面にも気を配る必要があります。

このためには、社会との接触を欠かさぬことが肝要であり、高齢者が積極的に戸外に出掛けるよう町オリジナルダンス「ヤレコゴルフ」や「ヤレコゴルフ」などの軽いスポーツの励行に努めるとともに、グラウンドゴルフ場などの整備に計画的に取り組みたいと考えています。

次いで、高齢者の社会参加の問題ですが、高齢者の大半は身体的にも精神的にもまだまだ元気です。シルバー人材センターを内容的に充実させ、働きたい方には働き口を提供し、社会的諸活動を内容的に充実させ、ボランティアとして参加したい方には行政や自治会などが求めている社会的活動をお示しし、社会の第一線は言うに及ばず、多方面において活躍していただきたいと考えています。

今後、社会の高齢化は加速度的に進行しますが、単に高齢者の増加だけではなく、高齢者の構成にも注意を払う必要があります。

当町の高齢者の構成は、現在、65歳から74歳までの前期高齢者が75歳以上の後期高齢者を数的に上回っています。国立社会保障・人口問題研究所によると、5年後の2015年には、この割合が同等になり、それ以降は逆転し、時間が経つにつれて前期高齢者は横ばいになり、後期高齢者は次第に増えていきます。

この高齢者の構成の逆転現象は、在宅ひとり暮らし高齢者の世帯や高齢者のみの世帯の増加だけではなく、心身の機能が低下し、外出が困難となる高齢者の増加につながります。外出が困難になることにより、高齢者に「閉じこもり・引きこもり」が起り、心身機能の更なる低下を招くことになり得ます。

閉じこもり・引きこもり対策としての「高齢者移動支援事業」および「弱者への対応」「救急医療・地域医療の充実」については、来月号でお話しします。

今年7月末から8月の初めにかけて実施した「まちづくりに関する住民意識調査」の結果を見ますと、行政の各分野の取り組みのうち町民の皆さまが強い関心を寄せ、重要度が取り分け高いと見なしたものは、①救急医療体制の充実(79.8%) ②地域医療の充実(75.5%) ③町の財政の健全な運営(68.3%) ④保健予防体制の充実(61.5%) ⑤災害に強いまちづくり(59.2%) となっております。

お一人お一人にお聞きすれば、関心を寄せ、重要度が高いと見なす取り組みはそれぞれ異なっていることは当たり前ですが、全体的に見れば落ち着くところに落ち着いたという感じでしょうか。このことは、個人の生活に置き換えれば自然に納得できます。

まず、一番大事なことは命の問題であり、いざという時も含め病気がかかった場合に治療を施す医師が地域に確保されるよう行政に取り組みを求めるところは至極当然なことです。次いで、医師が確保されなければ、日々の生活をこれといった問題がないように送るためにそれを裏付けるお金が無理のないようにやり繰りされなければなりません。医師の確保と、お金のやり繰りが満たされれば、次に願うのは健康です。特に健康を維持する保健予防に関心が向けられ、最後に願うのは、地震や台風などの災害を免れることです。

これらの四つの条件が満たされれば、個人の生活は、安全・安心に送れるということになります。したがって、町民の皆さまの行政の取り組みへの要望と個人の生活に対する願いは重なると言えるのではないのでしょうか。



町長からのメッセージ 93

我が町の明日のまちづくりについて…②

— 健康・福祉 —

福祉社会の建設

先月号でお話ししましたが、行政が何をおいても取り組まなければならないものは、時間の流れの中で起きることが現実視される事への対応です。一つは、少子高齢化によって引き起こされる社会事象であり、もう一つは、東海地震に代表される災害事象です。災害事象への対応は来月号でお話ししますが、今月号では少子高齢化により引き起こされる社会事象に触れてみたいと思います。

私は、数年前に社会事象への対応としては福祉社会の建設とお答えし、三つの柱をそれぞれスローガンで表現しました。一つ目の柱は少子化に対応するもので「産みやすく、育てやすい環境の整備」、二つ目の柱は高齢化に対応するもので「健康を維持しやすく、社会に参加しやすい環境の整備」、三つ目は弱者に対応するもので「打ち明けやすく、周囲が手を差し伸べやすい環境の整備」を掲げました。

少子化への対応

まず、妊娠・出産に当たって夫婦への対応ですが、妊娠されると妻はもちろんのこと、夫もお腹の子どもへの夢を描くと同時にお腹の子どもは大丈夫なのかと不安にさいなまれ、希望と不安のないまぜの日々が始まります。妊産婦に対する産前・産後の健康診査事業や訪問指導事業、子どもに対する健康診査相談事業(4カ月児・10カ月児・1歳児・1歳6カ月児・3歳児・フツ素塗布)の他に母親や父親に対する健康教育事業(妊婦と夫に対するパパママ教室・5カ月児の保護者に対するひよこさん教室・1歳児・3歳児の保護者教育)などの対応がとられていますが、当町は妊婦に対する健康診査に単独で歯科健康診査を上積みするなど他の市町に比べよりきめ細やかな対応を行っています。今後、要望や事業の分析を踏まえ、さらに踏み込んだ対応が必要であるとすれば、前向きに対応し環境の一層



▲例年以上にハイレベルな熱戦が展開されたソフトバレーボール大会

ア 町ソフトバレーボール親睦大会 タック！ ハイレベルな熱い戦い

今年で8回目を迎えた吉田町ソフトバレーボール親睦大会（町教育委員会・町体育指導委員主催）が10月3日、総合体育館で開催されました。この日は、混合の部に27チーム、女子の部に7チーム、計34チームが参加し、混合の部においては、3ブロックに分かれ、それぞれチームが優勝を目指し、ハイレベルな熱戦を繰り広げました。

大会結果は、次のとおりです。▷混合の部（各ブロック優勝）Aブロック①はむ☆スターズ Bブロック①風 Cブロック①ニッセー
▷女子の部①ごっくんレンジ②MATSUMOTO③スマイル

戦 戦没者追悼式 戦争の悲惨さと平和の尊さを心に刻む

町戦没者追悼式が、10月5日に総合体育館で営われました。当日は、戦争で家族を亡くした遺族の方々や、田村町長をはじめとする町関係者など約300人が参列し、不戦への思いを新たにしました。

式では、ステージに設けられた戦没者521柱の慰霊を祭った祭壇に向かって、参列者一人一人が献花し冥福を祈りました。

遺族代表の田島逸雄さんは「悲惨な戦争の苦労を身をもって体験したわたしたち遺族は、悲しい歴史を絶対に繰り返さないようにしなければなりません」と恒久平和への努力を誓いました。



▲戦争で亡くなった人たちの冥福を祈り献花する遺族の皆さん



▲一打一打を慎重に打ちながらゲートボールを楽しむ参加者

ま 町ゲートボール親睦大会 まだまだ現役です元気にスポーツ

町ゲートボール親睦大会（町教育委員会主催）が10月22日、大幡コミュニティ広場で開催されました。第2回となるこの大会は、町民の健康増進と体力の向上、ゲートボールの普及・振興を目的に実施されています。この日は、町内から5チーム約30人が参加し、緊張感が漂う雰囲気の中、熱戦が繰り広げられました。選手たちは、真剣な表情で一打一打を打ち、時折笑顔を見せながら親睦を深めていました。

なお、結果は次のとおりです。
①大幡 ②神戸西 ③神戸中 ④神戸東 ⑤片岡

交 住吉区で交通安全パレード 交通安全を呼び掛け350人が行進

9月23日に住吉区交通安全会主催の「交通安全パレード」が実施され、住吉区自治会や地域の皆さんなど約350人が参加しました。

出発式で岩崎梅二会長は「一人一人がのぼり旗を掲げて地域の皆さんに交通安全を呼び掛けてほしい」とあいさつしました。

パレードでは、住吉小学校4年生113人で行く鼓笛隊を先頭に「飲酒運転追放」や「シートベルト・チャイルドシート着用徹底」などののぼり旗を掲げながら小学校周辺約3.7kmを1時間かけて、ドライバーや地域の皆さんに交通安全を呼び掛けながら行進しました。



▲住吉小鼓笛隊の軽快な音楽を先頭に約350人の皆さんが参加した交通安全パレード

日 芸能祭・文化展 日ごろの成果を精一杯発表

文化協会（増田恵美子会長）と教育委員会共催の「吉田町芸能祭」が10月23日、学習ホールで開催されました。当日は、約700人の観客が訪れ、各小学校の児童による合唱や町内で活動するサークルなどの皆さんによるコーラス、民舞、空手、詩吟など33演目が披露されました。この日が晴れ舞台となった出演者の皆さんは、緊張した面持ちの中で、日ごろの学習の成果を力いっぱい表現し、会場からは、その熱演に惜しめない拍手が送られていました。

10月30日・31日の両日には「吉田町文化展」が総合体育館で開かれました。作品は、町内の児童や生徒、協会会員などが制作したもので、絵画、盆栽、書道などの力作約1,500点が展示され、訪れた皆さんの目を楽しませていました。主催した文化協会の増田会長は、「日ごろ努力の発表の場として有意義なものにして、今後も皆さんと交流を図りながらがんばっていききたい」と話してくれました。



▲美しい歌声が響き渡り訪れた観客を魅了した吉田町フリージアコーラスの皆さん
◀会員らが丹精込めて育てた盆栽に足を止めて観賞する来場者。会場には、約1,500展の力作が展示された。



▲手作りアクセサリなどを販売しながら交流する「マーガレット」の皆さん(右)



▲空気砲を体験する子ども(児童館まつり)



▲ステージ上で和太鼓演奏を披露する「手をつなぐ育成会」の皆さん

た ふれあい広場・児童館まつり たくさんの笑顔とふれあい

10月24日に健康福祉センター「はあとふる」で「第28回ふれあい広場」が、隣接する中央児童館では「第31回児童館まつり」が開催されました。

ふれあい広場（同実行委員会主催）は、交流の中で福祉について理解を深めることを目的に、10月第4日曜日の「町民福祉の日」に合わせ開催されているものです。

今年は「ふれあってくらす しあわせ吉田町」をテーマに福祉関係団体やボランティアグループなど45団体が参加し、手芸品の販売やバザー、スタンプラリーなどで地域の皆さんとふれあいながら交流を深めました。

また、地域住民と交流を深めることを目的に毎年実施されている「児童館まつり」では、たくさん子どもたちが訪れ、空気砲を使った遊びやお菓子を釣るゲームなどを楽しみ、コマ作り体験では、真剣な表情で悪戦苦闘しながら作ったコマを親子で楽しそうに回している姿もありました。

吉田町牧之原市広域施設組合 平成23年度採用の職員を募集

募集職種・採用予定数
一般職 1人

受験資格

- ①昭和58年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた方で、短期大学卒業（平成23年3月までに卒業する見込みの方を含む）以上の方
- ②日本国籍を有する方
- ③地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない方

申込方法
吉田町牧之原市広域施設組合事務局備え付けの申込用紙および市販の履歴書に必要事項を記入の上、次の期間内に受験者本人

が提出してください。
受付期間
12月6日(月)から12月20日(月)まで
第1次試験
(1)試験日 平成23年1月15日(土)
・一般教養試験（マークシート方式による一般的な知識の択一試験）
会場 中央公民館1階ホール
第2次試験
第1次試験合格者について、作文および面接試験を実施します。
(2月中旬予定)
問合せ先
吉田町牧之原市広域施設組合事務局 ☎24-11000

平成23年度 母子・寡婦福祉資金の貸付について

貸付対象者 母子家庭
資金の内容

- ①就学支度資金…就学するに際して直接必要とする被服、履物などの購入費などにあてるために貸し付ける資金です。入学時に1回に限り貸し付けます。
- ②修学資金…高等学校、大学などで修学するために直接必要な授業料、書籍代、交通費などにあてるために貸し付ける資金です。修学期間中、毎月末日に継続的に貸し付けます。

申請書最終締切

- ①就学支度資金 平成23年1月24日(月) (必着)
- ②修学資金 平成23年2月21日(月) (必着)

問合せ先

社会福祉課 児童福祉部門
☎33-2153

はかりの定期検査を実施

定期検査の対象となるはかり

- ・商店や工場などで取引に使うはかり
- ・薬局などで薬剤調合用に使うはかり
- ・荷物運送業などで荷物の料金を決めるために使うはかり
- ・お茶、干しシイタケなどの販売するために使うはかり
- ・学校、病院などで健康診断書の作成のために使うはかり

検査日程

- ①12月13日(月) 10:30~15:00
- ②12月14日(火) 10:30~15:00
- ③12月15日(水) 10:30~12:00

場所

中央公民館 北側駐車場
※はかりの定期検査受験者には検査日の約1週間前に「計量器定期検査通知書(はがき)」が送付されます。

問合せ先

産業課 商工観光水産部門
☎33-2122

榛南・南遠広域都市計画 変更案を縦覧します

都市計画の種類

榛南・南遠広域都市計画
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更

内容

人口や産業の現状、将来の見通しなどを踏まえ、本都市計画区域の整備、開発および保全の方針を変更するものです。

縦覧期間

12月10日(金)~12月24日(金)
8:15~17:00
(土・日・祝日を除く)

縦覧場所

- ・都市建設課(庁舎2階)
- ・静岡県交通基盤部都市局都市計画課

意見書の提出

縦覧する案について意見のある場合は、役場都市建設課にある所定用紙により、縦覧期間中に町または県に、直接または郵送で意見書を提出することができます。(12月24日(金)17:15必着)

送付・問合せ先

〒421-0395
吉田町住吉87 吉田町役場
都市建設課 都市計画部門
☎33-2161
〒420-18601
静岡市葵区追手町9-6
静岡県交通基盤部都市局都市計画課
☎054-221-3062

吉田町総合障害者自立支援施設 「あつまりリーナ」の事業紹介

●地域活動支援センター「レタスクラブ」

曜日 月曜日・木曜日
時間 9:00~16:00
内容

毎日の暮らしの中で、困っていること、不安に感じていることをどうすればよいか、困った時には、専門スタッフが一緒に考えます。利用するには、特別な書類は必要ありません。

ここでは、気が向いた時に立ち寄っていただくことができます。例えば、「日常生活のリズムを整えたい」「自分だけのゆとりとした時間を持ちたい」「なんとなく寂しいから話を聞いてほしい」など自由に出入りして過ごせる場所です。

自分からは、なかなか言葉にして相談しにくいものですが、「レタスクラブ」を利用するうちに、ちょっとした日常会話の中から相談につながる場でもあります。



●相談支援事業

曜日 月曜日~金曜日
時間 8:30~17:00
内容

日常生活で困ったとき、相談したいとき、共に考え、一人一人の思いを大切にして障害福祉サービスなどの利用のお手伝いをします。まずお電話ください。

●あつまりリーナの日曜開設

開催日 第1・第3日曜日
時間 8:30~12:30
内容

家族同士の交流や地域との交流などの場として、地域交流室や交流ホールをご利用ください。※そのほか「あつまりリーナ」では、就労継続支援B型事業、生活介護事業、障害児放課後児童クラブ事業を行っています。詳細については、10月号をご覧ください。

問合せ先

吉田町総合障害者自立支援施設「あつまりリーナ」
☎34-2000
FAX 34-2022

ふれあい講演会



●トークショー
シンプルライフ~私の夢のかなえ方

講師 森 理世さん
Riyo Mori

MISS UNIVERSE 2007

平成23年1月9日(日)
(開場14:00) 14:30~16:00
学習ホール

主催 吉田町・吉田町教育委員会・中部電力株式会社

TICKET

抽選で360名様(ペア180組)を無料でご招待

申込方法

●郵便はがき…郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・性別を明記の上、下記宛先までお申込みください。(当日必着)

〒420-0037静岡七間郵便局留「吉田町 中部電力ふれあい講演会」係
●応募箱…中央公民館にある応募用紙に必要事項明記の上、応募箱にご投函ください。

●中部電力ホームページ
http://www.chuden.co.jp 内「ハートブリッジ」の「お知らせ」にて必要事項を入力の上、お申込みください。

申込締切 12月8日(水)
問合せ先 教育委員会事務局
☎33-2152

●中部電力静岡支店
広報グループ
☎054-273-9004

募集 「ちいさな理科館」講座
の受講者を募集します

12月の講座	
開催日	講座名
4日(出)	光のふしぎ
5日(日)	ミクロの世界を探検しよう (後藤純一先生特別授業)
11日(出) 12日(日)	顕微鏡で土の中の生物を のぞこう
11日(出)	親子天体教室 ※18:30~20:30
18日(出) 19日(日)	発泡スチロールスタンプ
25日(出) 26日(日)	空気の力はどれくらいかな

時間 13:30~15:00
対象 小学校1年生~6年生
場所 ちいさな理科館
参加費 100円
申込方法 ①学校名・クラス②氏名③住所・電話番号④保護者氏名⑤希望講座名を電話でお知らせください。
申込・問合せ先 ちいさな理科館
 10:00~17:00
 (木・金・祝日を除く)
 ☎34-5533

案内 大井川中流域を見て学ぶ
見学ツアーを開催します

私たちの暮らしに密接なつながりを持つ大井川の現状を理解し、さらなる大井川の環境保全を推進するための視察会です。
開催日 ①11月28日(日) ②12月4日(出)
参加費 500円(昼食相当分)
行程 J R 島田駅南口(9:00集合)→島田市神座分水工→笹間川、塩郷、境川の各ダム→長尾川水路橋→大井川ダム→長島ダム→帰路→J R 島田駅南口(17:00解散予定)

申込方法 ハガキに住所・氏名・生年月日・電話番号・参加希望日を明記の上、下記までお申し込みください。
 ※申込多数の場合は抽選
申込締切 11月22日(月)(当日消印有効)
申込・問合せ先 〒428-0313 川根本町上長尾627 川根本町役場企画課環境室 ☎0547-56-2221

案内 町外の方で吉田町成人式
に参加希望の方は連絡を

該当者 町外に住所がある方で町の成人式(1月9日)に出席を希望する方。
 (平成2年4月2日~平成3年4月1日生まれの方)
連絡事項 成人者氏名、性別、生年月日、保護者氏名、住所、電話番号
連絡期限 12月1日(水)
問合せ先 教育委員会事務局 ☎33-2152

案内 税務署からのお知らせ

相続、贈与などにより取得した生命保険契約や損害保険契約などに係る年金の所得税の取扱いを改めることとしました。
 この取扱いの変更により、所得税の還付を受けることができる場合があります。詳しくは、国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)をご覧ください。

子どもの相談室	知的障害者相談	精神障害者相談	すくすく広場
毎週 月・水・金曜日 8:30~12:00、13:00~16:30 役場 5階 教育相談室 相談のある方は、事前にご連絡ください。 問合せ先 教育委員会事務局 ☎33-2151	12月7日(火)13:30~16:00 場所 障害者自立支援施設(あつまりーナ) 相談のある方は、ご予約ください。 問合せ先 相談員 芝 ☎32-3065 あつまりーナ ☎34-2000	12月15日(水)13:30~15:30 場所 障害者自立支援施設(あつまりーナ) 相談のある方は、ご予約ください。 問合せ先 相談員 曾根 ☎32-1779 あつまりーナ ☎34-2000	12月15日(水)10:30~11:30 場所 学習ホール 内容 合同クリスマス会 持ち物 お茶などお子さんに必要なもの ※よちよち・すくすく・わんぱく合同 問合せ先 中央児童館 ☎32-3401
心配ごと相談	電話相談(苦情等)窓口	無料法律相談	日曜開庁実施日
12月1日(水)・22日(水) 13:30~16:00 健康福祉センター(はあとふる)1階相談室 問合せ先 社会福祉協議会 ☎34-1800	行政に対する相談や苦情は町の行政経営指導員が対応します。 受付時間 8:15~17:00 (土・日・祝日を除く) ☎33-3117(直通)	12月17日(金)13:00~15:00 役場 2階 会議室 相談のある方は、あらかじめご予約ください。 問合せ先 総務課 ☎33-2131	12月12日(日)・19日(日)・26日(日) ※5日は地域防災訓練実施日のため開庁します 開庁時間 8:15~12:00 13:00~17:00 問合せ先 総務課 ☎33-2132
建物の無料相談	消費生活相談	一般廃棄物最終処分場(エポ池)休日搬入日	清掃センター・リサイクルセンター休日搬入日
12月5日(日)・12日(日)・26日(日) 10:00~12:00 中央公民館1階 ロビー 法律・耐震補強など建築全般 ※相談を希望される方は、事前にご連絡ください。 問合せ先 都市建設課 ☎33-2161	相談は、随時受け付けています。事前にご連絡ください。 問合せ先 産業課 ☎33-2122	12月5日(日)・12日(日)・19日(日)・26日(日) 搬入時間 13:00~15:30 問合せ先 町民課 ☎33-2102	12月4日(土)・12日(日)・18日(土)・26日(日) 土曜日 8:30~12:00 日曜日 8:30~12:00 13:00~15:00 問合せ先 清掃センター ☎24-0530

募集 日本語指導者養成講座
の受講者を募集します

外国人に日本語を教えるボランティアのための講座です。
 興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください。
開講日 12月8日(水)、15日(水)
 平成23年1月26日(水)(全3回)
時間 19:00~21:00
場所 健康福祉センター
 「はあとふる」2階研修室
講師 静岡県国際交流協会
 日本語支援アドバイザー
 徳山道子 氏
受講料 2,000円
募集人員 10人(先着順)
募集期間 11月22日(月)~30日(火)
申込・問合せ先 吉田町国際交流協会事務局(役場企画課内)
 ☎33-2135

入札結果

入札結果を公表します

予定価格・落札価格は消費税込み

平成22年10月6日執行
指名競争入札
 ◆吉田漁港内底質調査業務委託
 指名 5社
 落札業者 (株)静環検査センター
 予定価格 525,000円
 落札価格 397,950円
 落札率 75.80%
 ◆吉田漁港5号岸壁調査業務委託
 指名 5社
 落札業者 日本海洋調査(株)
 予定価格 1,260,000円
 落札価格 1,207,500円
 落札率 95.83%
 平成22年10月6日執行
制限付き一般競争入札
 ◆町営住宅松原団地地上デジタル放送受信設備改修工事
 入札参加資格業者 11社
 落札業者 福文電設(株)
 予定価格 3,780,000円
 落札価格 3,024,000円
 落札率 80.00%
 平成22年10月18日執行
抽選型指名競争入札
 ◆大窪川改修工事
 入札参加 10社

落札業者 南藤浪工務店
 予定価格 19,981,500円
 落札価格 18,782,610円
 落札率 94.00%
 ◆青柳北原2号線道路改良工事
 入札参加 10社
 落札業者 (株)大場組
 予定価格 2,016,000円
 落札価格 1,638,000円
 落札率 81.25%
 ◆浜河原3号線外1路線配水管布設替工事
 入札参加 10社
 落札業者 鈴木電気(株)
 予定価格 19,477,500円
 落札価格 16,548,000円
 落札率 84.96%
 平成22年10月18日執行
指名競争入札
 ◆新水源調査業務委託
 指名 8社
 落札業者 内田鑿泉(株)
 予定価格 14,805,000円
 落札価格 14,175,000円
 落札率 95.74%
 ◆携帯型MCA無線機配備
 指名 5社
 落札業者 (株)門田電話工業所
 予定価格 1,764,000円
 落札価格 1,354,500円
 落札率 76.79%

◆亀の尻線測量業務委託
 指名 5社
 落札業者 服部エンジニア(株)
 予定価格 1,816,500円
 落札価格 1,564,500円
 落札率 86.13%
 平成22年10月21日執行
制限付き一般競争入札
 ◆吉田中学校
 公共下水道接続工事
 入札参加資格業者 4社
 落札業者 (有)吉田電設
 予定価格 8,841,000円
 落札価格 7,297,500円
 落札率 82.54%
 ◆町道大幡川幹線舗装修繕工事
 入札参加資格業者 11社
 落札業者 大石建設(株)
 予定価格 28,980,000円
 落札価格 26,880,000円
 落札率 92.75%
 ◆東名大井川線舗装修繕工事
 入札参加資格業者 10社
 落札業者 曾根工業(株)
 予定価格 21,840,000円
 落札価格 20,370,000円
 落札率 93.27%
 ◆大幡川尻2号線舗装修繕工事
 入札参加資格業者 9社
 落札業者 大石建設(株)
 予定価格 16,065,000円

落札価格 15,015,000円
 落札率 93.46%
 ◆海岸幹線舗装修繕工事
 入札参加資格業者 8社
 落札業者 大石建設(株)
 予定価格 2,026,500円
 落札価格 1,890,000円
 落札率 93.26%
 ◆小藤路公園東側駐車場整備工事
 入札参加資格業者 9社
 落札業者 大石建設(株)
 予定価格 1,491,000円
 落札価格 1,470,000円
 落札率 98.59%
 ◆東名川尻幹線改良工事
 入札参加資格業者 10社
 落札業者 曾根工業(株)
 予定価格 22,365,000円
 落札価格 20,580,000円
 落札率 92.02%
 ※入札結果は町のホームページ
 (http://www.town.yoshida.shizuoka.jp)でご覧いただけます。
問合せ先 総務課 契約管理部門 ☎33-2133

健診相談のご案内

内容	対象	期日	受付時間
赤ちゃん健康相談	乳幼児希望者	12月17日(金)	9:30~11:00
1歳児健康相談	平成21年12月生	12月10日(金)	9:30~10:30
1歳6カ月児健診	平成21年5月生	12月10日(金)	13:00~14:00
3歳児健診	平成19年11月生	12月8日(水)	13:00~14:00
2歳児歯科相談	平成20年12月生	12月14日(火)	9:30~10:30
2歳6カ月児歯科相談	平成20年6月生	12月14日(火)	13:00~14:00
3歳6カ月児歯科相談	平成19年6月生	12月14日(火)	14:30~15:30
パパ・ママ教室Ⅲ	母子健康手帳交付	肝炎ウイルス相談・検査、エイズ検査、骨髄ドナー登録受付	
12月17日(金) 18:30~20:30 産後の日常生活・赤ちゃんとお風呂・赤ちゃんの抱き方	毎週月曜日 8:15~16:45	問合先 中部保健所 (予約制) ☎054-644-9273まで直接お問い合わせください。	
町民健康相談			
12月6日(月) 9:30~11:00	<ul style="list-style-type: none"> 体調が気になる方 血糖値、脂質検査値、 血圧値が気になる方 	<ul style="list-style-type: none"> 肥満傾向の方 運動不足の方 タバコをやめたい方 	
保健師・栄養士が個別相談に応じます。お気軽にお越しください。血圧測定・尿検査・肥満度測定(体脂肪率)も行っています。			

問合先 健康づくり課 (保健センター) ☎32-7000

次回の楽市

12月12日

9:00~

能満寺山公園駐車場

新鮮な野菜や地場産品の販売、フリーマーケットもあります。

県営吉田公園情報

お申し込み・お問い合わせはNPO法人しずかちゃん事務局まで ☎33-1420

12月の園芸ミニ講座

園内の植物管理作業にボランティア参加していただきながら、園芸植物に関する豆知識について学ぶミニ講座です。

日時 12月11日(土)9:00~(雨天決行)

会場 吉田公園内ヒーリングコア

内容 庭木の手入れ

参加料 無料(事前の申込みも必要ありません)

持ち物 軍手、剪定ばさみ

12月の休診日当番医

- 5日 千内科クリニック ☎34-1001
 - 12日 さかい耳鼻咽喉科医院 ☎34-1818
 - 19日 いしだ眼科 ☎34-1400
 - 23日 玉井整形外科医院 ☎28-6667
 - 26日 藤本クリニック ☎24-1200
 - 29日 川田医院 ☎32-0154
 - 30日 小田原産婦人科医院 ☎32-5773
 - 31日 こどもクリニックおおかわ小児科 ☎32-6789
- 診療時間 9:00~17:00
※変更することがありますので、ご了承ください。
※受診する場合は、当番医に電話してから受診してください。

総合体育館：12月の主な利用予定

日	曜日	行事名	はじめ~おわり	問合先
4	土	第16回小学生交流バドミントン大会	8:00~17:00	町体育協会 ☎32-8587 (菊地)
12	日	第3回オーケストラで第九を歌おうINよしだ	13:30~15:45	実行委員会 ☎32-5231 (橋本)
18	土	なぎなた合同研修会	9:00~12:00	教育委員会事務局 ☎33-2152
19	日	吉田町インディアカオープン大会	8:30~16:00	町インディアカ同好会 ☎32-7352 (益田)
26	日	榛原地区空手道競技大会	9:00~	榛原地区空手道連盟 ☎32-6503 (小塩)

学習ホール：12月の主な利用予定

日	曜日	行事名	はじめ~おわり	問合先
10	金	ひばり幼稚園生活発表会	8:30~12:30	ひばり幼稚園 ☎32-0183
15	水	児童館合同クリスマス会	10:30~11:30	中央児童館 ☎32-3401

育てよう一人一人の人権意識 ~思いやりの心・かけがえのない命を大切に~
12月4日(土)から10日(金)まで「人権週間」です。

常設相談所 静岡地方法務局 人権擁護課 ☎054-254-3555
静岡地方法務局 掛川支局 ☎0537-22-5538

町オリジナルダンスを通して健康づくりをしませんか?

下記のとおり練習会を開催します。
どなたでも参加できますので、お問い合わせしてお越しください。

会場	住吉小体育館	川尻会館	片岡会館①	片岡会館②	自彊小体育館
時間	19:30~21:00	19:30~21:00	10:00~11:30	19:30~21:00	19:30~21:00
曜日	金曜日	土曜日	月曜日	火曜日	月曜日
11月	19日	27日	22日	—	—
12月	17日	—	13日	14日	6日

※都合により会場・日程が変更する場合がありますので、ご了承ください。(運動のできる服装・室内シューズを持参してください。)

問合先 健康づくり課 ☎32-7000

フィットネスエクササイズ教室・ダンスエクササイズ教室・親子体操教室の受講生を追加募集します

教室名	対象	開催曜日	時間	募集人数
フィットネスエクササイズ	町内在住在勤の方	火曜日	10:00	10人
ダンスエクササイズ		金曜日		10人
親子体操	町内在住の満2歳以上の未就園児とその保護者	火曜日	11:00	各曜日5組
		水曜日		
		木曜日		

募集期間 11月29日(月)~12月1日(水)

受付時間 8:15~17:00

受付場所 健康づくり課 (保健センター)

注意事項

- 親子体操説明会を12月2日(木)13:30から総合体育館にて開催しますので必ずお集まりください。なお、申込み多数の場合は、説明会時に抽選を行いません。
- 受講料などの詳細は、健康づくり課までお問い合わせください。

問合先 健康づくり課 ☎32-7000

歩き方やストレッチなどウォーキング教室を開催

正しい歩き方・ストレッチなど初心者向けの教室です。

開催日 11月26日(金)

12月24日(金)

時間 14:00~15:00

会場 住吉会館婦人教室

内容 講話・ウォーキング

持ち物 運動できる靴、飲料水、

室内シューズ、タオル

※希望される方は直接会場にお越しください。

問合先 健康づくり課

☎32-7000

県民生活に密着した2011年版「県民手帳」を販売中

県民生活に密着した情報満載の県民手帳が発行されました。

購入を希望される方は、代金を添えてお申し込みください。

金額 ・大型判「14.5cm×9cm」600円(税込み)

・小型判「12cm×7.3cm」500円(税込み)

販売場所 役場3階企画課

販売期間 平成23年1月31日(月)まで(土・日・祝日を除く)

8:15~17:00

申込・企画課 企画調整部門

問合先 ☎33-2135

脂肪燃焼!!「トランポウオーク教室」を開催

開催日 11月17・24日(水)

12月1・8・15日(水)

会場 総合体育館2階剣道場

時間 ①もみじトランポウオーク(60歳以上の女性)

10:00~11:00

②男性トランポウオーク

13:30~14:30

問合先 健康づくり課

☎32-7000

「志太・榛原地域救急医療センター」の職員を募集

職種 看護師

条件 看護師の資格を有する者

仕事内容 ・夜間の医師診療の介助、看護

・医療機器の操作など

問合先 志太・榛原地域救急医療センター

☎054-644-0099

初心者の方歓迎します「なぎなた合同研修会」

日時 12月18日(土)

9:00~12:00

会場 総合体育館

内容 なぎなたの基礎

問合先 教育委員会事務局

☎33-2152

最新号の「文集よしだ」中央公民館で販売中です

町文化協会では「文集よしだ(第15号)」を発行しました。

本号では、特

集として「なつ

かしい郷土のまつり」のほか、

心温まる投稿作

品を多数掲載し

ています。

定価 500円

問合先 町文化協会(中央公民館内) ☎32-3121



交通事故のない安全・安心な町へ

町内交通死亡事故ゼロ連続500日達成

10月13日に町内の交通死亡事故ゼロが連続500日を達成し、町は10月21日、静岡県交通安全対策協議会（会長・川勝平太知事）から表彰を受けました。伝達式には、田村町長をはじめ、交通安全団体関係者など約20人が参加し、牧之原署の加藤署長が「これを励みに、交通事故がない安全・安心な町になってほしい」と祝辞を述べました。また、田村町長は「今後ともこの記録を積み重ねたい」と交通安全に対する決意を述べました。

なお、これまでの連続記録は、1,053日です。



▲県くらし環境部県民生活局くらし交通安全課長から表彰状を受け取る田村町長

チャリティー歌謡祭

寄付金を町社協へ

カラオケ愛好者の皆さんによる「30周年記念えんかチャリティー歌謡祭」がこのほど学習ホールで開催され、町内の方や牧之原市などの周辺地域の方96組が出演しました。出演者たちは、自慢の歌声や踊りなど力一杯ステージ上で披露し、来場者やこの日招待された「牧ノ原やまばと学園」の皆さんを楽しませていました。

また、会場では募金活動も行われ、出演者や来場者の皆さんから集めた寄付金22万4,339円を主催者側から「福祉のために役立ててほしい」と町社会福祉協議会へ手渡しました。



▲田村町長に寄付金を手渡すチャリティー歌謡祭を主催した岸端邦治さん（中央）

静岡県読書推進運動協議会長賞

吉田読書クラブが受賞

10月18日に開催された静岡県図書館大会の中で、優良読書グループとして「吉田読書クラブ」が静岡県読書推進運動協議会長賞を受賞しました。「吉田読書クラブ」は2005年1月に結成され、「誰でも気軽に参加し、楽しく話し合おう」をモットーに、毎月第4日曜日に会員の推薦で決めたテキストについて語り合う活動を行っています。表彰を受けた吉田読書クラブ代表の横田博さんは「図書館や会員の皆さんのご協力を受賞したことをうれしく思います。これを機にさらに楽しく実のある会にしていきたい」と語ってくれました。「吉田読書クラブ」は、事前の申込みなしで自由に参加することができます。詳しくは図書館まで。



▲吉田読書クラブの皆さんの活動の様子

▶表彰を受ける吉田読書クラブ代表の横田さん（右）



だより

健康づくりのための運動について

誰もが健康でありたいと願うもの。この健康をより長く、自分らしく維持することが最大の課題となります。そこで、内臓脂肪が気になる方も、そうでない方も、健康づくりのための運動について何か始めてみませんか？

内臓脂肪が気になる方へ

内臓脂肪が増えると内臓脂肪自体が分泌する生理活性物質の分泌異常が起り、動脈硬化を進めたり、インスリンの働きを低下させるなど肥満は、多くの生活習慣病を誘発します。

そこで、内臓脂肪を減らしてメタボリックシンドロームを改善するために、1週間あたり、150分の速歩（10エクササイズ）などをお勧めします。食事摂取量を変えないまま週10エクササイズ程度の運動量を増加させることにより、1カ月で1〜2%近くの内臓脂肪を減少させることが期待さ

健康づくりのために体を動かしたい方へ

日常生活の中で健康づくりを行う場合は、普通の歩行なら一日1万歩を目標に60分間の歩行を実施していきましょう。

運動で健康づくりを行う場合は、日常生活で身体を動かすことに加え、生活スタイルと体力に応じた運動を行うことに心がけましょう。例えば1週間あたり60分の速歩、35分のジョギング（4エクササイズ）な

どの運動量を目標にしましょう。

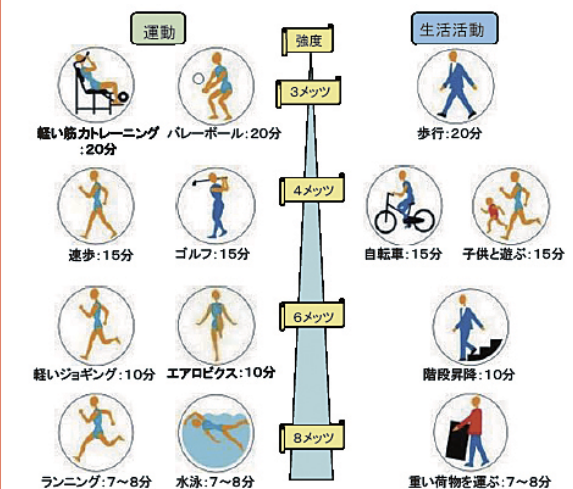
ウォーキング教室に参加してみませんか

町では、初心者の方を対象に、ウォーキング教室を開催しています。正しいウォーキング方法を知り、安全に楽しくウ

ウォーキングができるように、健康運動指導士が講話や実技など指導します。健康づくりのための運動を始めてみたい方、すでに実施しているがウォーキング方法を再確認してみたい方は、積極的にご参加ください。

問合せ先 健康づくり課（保健センター）
☎32-7000

1 エクササイズに相当する活発な身体活動



笑っしょいよしだ フェスティバル(第2回吉田町パフォーマンス発表会)開催

日時 11月21日① 12:45〜 会場 総合体育館アリーナ

町内のダンスパフォーマーが集結

- ① コンテスト部門ダンス
- ② 発表部門ダンス
- ③ 特別ゲストダンス
- ④ オレンジミニライブ
- ⑤ 「ヤーレコのSAY!」総踊り

※当日は、おしるこ無料サービスやお楽しみ抽選も行います。皆さまのご観覧をお待ちしています。(入場料無料)



問合せ先 健康づくり課 ☎32-7000

吉田町駅伝チームの選手を紹介します (敬称略)



吉田町のユニフォームは「濃紺」
ゼッケンナンバーは「37」



監督 堀之内 大 (川尻) コーチ 岸端 篤 (住吉)
 コーチ 中島 克訓 (住吉) コーチ 八木千津子 (川尻)



大石 貴紀

●自彊小学校6年(神戸)
完走目指してがんばります。



山西 快生

●住吉小学校6年(住吉)
最後まであきらめず、全力を尽くします。



河原崎 友莉

●中央小学校6年(川尻)
最後まであきらめず、全力でがんばります。



三輪 綾香

●住吉小学校6年(住吉)
ベストを尽くし、精一杯走ります。



吉田 和也

●吉田中学校3年(川尻)
大一番の発勝負。燃え尽きるぞ！



大石 悠介

●吉田中学校1年(神戸)
チームに貢献できるように一生懸命がんばります。



増田 千栄

●吉田中学校2年(片岡)
区間賞目指して、悔いの残らぬようがんばります。



座間 彩乃

●吉田中学校1年(川尻)
今までの練習の成果を出し切って、がんばります。



三輪 北斗

●藤枝明誠高校2年(神戸)
3人は抜きたいです。がんばります。



田辺 良磨

●島田高校1年(片岡)
みんなでがんばりましょう。



野中 翔太

●島田高校1年(住吉)
全力を尽くし少しでもチームの力になりたいです。



福世 愛

●常葉菊川高校3年(住吉)
最後の高校生区間なので楽しく走りたいです。



辻森 直香

●吉田高校2年(神戸)
1秒でも早くタスキを渡せようがんばります。



寺内 彩

●秦野高校1年(神奈川県)
吉田町に貢献できるように一生懸命走ります。



三輪 晋大朗

●東京農業大学1年(住吉)
チームのために全力でがんばります。



横山 友敬

●専修大学3年(住吉)
陸上10年目。感謝の気持ちを持ってがんばります。



長谷川奈津子

●聖ルカホーム(片岡)
チームの力に貢献します。



三輪 千晃

●千葉大学3年(住吉)
1秒でも早くタスキを渡せようがんばります。



紅林 幸夫

●富士フィルム(牧之原市)
全力を出し切ります。優勝目指してがんばるぞ！



山西 雄一

●山西製作所(住吉)
チーム吉田のために激走！今年は絶対に抜く！



12月4日(土) 10:00 START

しずおか市町対抗駅伝

区間	選手区分	距離
第1区	ジュニアA女子	3.974km
第2区	小学生男子	1.848km
第3区	小学生女子	1.469km
第4区	一般女子	3.549km
第5区	ジュニアA男子	6.756km
第6区	40歳以上	4.340km
第7区	中学生男子	3.760km
第8区	中学生女子	3.020km
第9区	ジュニアB女子	4.670km
第10区	ジュニアB男子	4.310km
第11区	一般男子	4.499km

※ジュニアAは高校生の区間、ジュニアBは中学生または高校生の区間です。

今年で11回目を迎える「静岡岡崎市町対抗駅伝競走大会」は、12月4日(土)に開催されます。

これに先立ち、吉田町実行委員会は10月10日、中央公民館で結団式を開き、田村町長をはじめ、選手・スタッフの皆さん20人が出席しました。式の中で田村町長は「大会まで体調を管理して、ベストコンディションで臨んでほしい」と激励し、堀之内大監督は「チームのベスト記録を更新したい」と力強く話し、チームの健闘を固く誓いました。

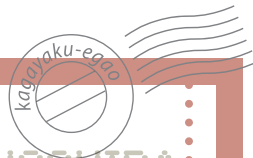
吉田町駅伝チームは、昨年過去最高タイム2時間26分8秒を記録し、「町村の部」第5位入賞と好成績を残しました。

今年、5月から練習や選考を重ね、昨年以上の成績を目指せるチームをつくり上げ大会に臨みます。

なお大会は、10:00に静岡県庁前をスタート、清水清見潟公園で折り返し、ゴールの草薙陸上競技場までの全11区間42・195kmを選手たちが熱い思いを込めてタスキをつなぎます。

当日は、草薙運動場内で県下の市町が参加する「夢逸品市場」も同時開催されます。吉田町からは「吉田良質うなぎ研究会」の皆さんが吉田産のうなぎをPRします。そのほか各市町からも名産品が出店され、ふるさとの味を堪能することができます。

放送のご案内 ■SBSテレビ9:30~12:50 ■SBSラジオ9:40~13:00



YOSHIDA

11月生まれ

かがやく笑顔



Happy Birthday

ハッピーバースデー



まつむらゆうき
松村 紬希 ちゃん
平成19年11月27日生まれ
(3歳・神戸)

小さく生まれたけれど、こんなに大きくなりました。これからも元気に育ってね。



やつおひろき
八尾 拓樹 くん
平成21年11月17日生まれ
(1歳・神戸)

拓樹☆1さいおめでとう☆家族みんなかわいいひろくんがだ〜いすき♡父母兄姉より



よこさわだいち
横澤 大智 くん
平成19年11月4日生まれ
(3歳・神戸)

お兄ちゃんが大好きなだいちゃん。最近パズルに夢中！元気いっぱい育ってね♡



かしわたここみ
岸端 心海 ちゃん
平成20年11月6日生まれ
(2歳・住吉)

三輪車大好き♡お歌大好き♡毎日ここの笑顔を癒されています。



さいとうなな
斉藤 那奈 ちゃん
平成20年11月22日生まれ
(2歳・住吉)

歌や音楽に合わせてノリノリで踊るのが大好きな、なんなん☆ いつも笑顔でいてね♡



いわもとこう
岩本 昂 くん
平成19年11月12日生まれ
(3歳・片岡)

11月からいよいよ幼稚園。お兄ちゃんと登園できてよかったね。がんばれ!! こうちゃん

お子さんの
かわいい笑顔募集！
12月号の対象者

町内在住で12月に1歳～3歳になるお子さん（平成19・20・21年の各11月生まれ）を6人募集します。応募期限は、11月22日(月)17:00までとします。

なお、応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。掲載が決定した方のみ、こちらから掲載についての詳細な書類を送付させていただきます。

応募・問合せ先 総務課 秘書広報部門 ☎33-2131

Editor's note ●

編集後記

今月号は、防犯について特集しました。▼黄色のベスト着た人を取材しようとして、町内を回るとたくさんの方が街頭に立っていました。その中で、当番制ではなく、自らボランティアとしてわが子のように見守っている方もいました。本当に感謝します。▼今回は、私も黄色のベストを着て（カメラを持った不審者と思われぬように）取材しました。▼ベストを着る以上、撮影だけでなく、あいさつもしましたが、子どもたちとあいさつを交わしていると自然と笑顔が出てくるものです。▼人相の悪い私ですが、子どもたちには、どう映ったのでしょうか。私は、さすががしい気持ちになりましたが…▼今回の特集で少しでも犯罪が減り、一段と防犯に強い町になるとうれしく思います。

総務課秘書広報部門 岩下聡